

## 老年高度看護実践論

単位数：2単位（時間数：30時間）

開講年次及び学期：1年次前期

- 原 祥子：地域・老年看護学講座 教授  
加藤 真紀：地域・老年看護学講座 准教授  
吉岡佐知子：松江市立病院副看護局長（老人看護専門看護師）  
島根大学医学部臨床看護教授  
内部 孝子：松江赤十字病院看護副部長（老人看護専門看護師）  
空先 育子：松江記念病院看護師長（老人看護専門看護師）  
塩川 ゆり：訪問看護ステーションあおいそら管理者  
（在宅看護専門看護師）

### 1. 科目の教育方針

複雑かつ多様な健康問題をもつ高齢者とその家族に対して、専門的知識と理論を踏まえるとともに倫理的な看護判断に基づき、Cure と Care を統合した看護援助ができる能力を開発する。

### 2. 教育目標

- 1) 入院治療を受ける高齢者における、入院に伴って生じるリスクとリスク管理、Cure と Care を統合した看護援助、円滑な在宅移行に必要な連携と調整について説明できる。
- 2) 介護保険施設を利用する高齢者ケアの現状と課題を理解し、Cure と Care を統合した看護援助、多職種連携・協働の体制づくりと看護の専門性について説明できる。
- 3) 在宅療養する高齢者と家族への支援の実際と課題を理解し、在宅での疾病管理、Cure と Care を統合した看護援助について説明できる。
- 4) 高齢者のエンドオブライフケアの現状と課題、エンドオブライフの医療・ケアに関するガイドライン等を理解し、高齢者に起こりやすい症状や苦痛のアセスメント、緩和ケアを含む Cure と Care を統合した看護援助、倫理的問題と倫理調整について説明できる。

### 3. 教育の方法、進め方、評価

#### 【方法と進め方】

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。対面授業を基本とする。

#### 【評価】

プレゼンテーション内容、討論での取り組みと貢献度等により総合的に評価する。

### 4. 使用テキスト、参考文献

テキストは指定しない。参考文献等を適宜提示する。

#### 【参考文献】

- 1) 井部俊子, 他監修: 専門看護師の思考と実践, 医学書院, 2015.
- 2) 中島紀恵子, 他監修: 高齢者の生活機能再獲得のためのケア プロトコル-連携と協働のために, 2010.
- 3) 鶴若麻理, 他編: 看護師の倫理調整力 専門看護師の実践に学ぶ, 日本看護協会出版会, 2018.
- 4) 桑田美代子, 他編: 高齢者のエンドオブライフ・ケア実践が textbook 第1巻, 第2巻, 中央法規, 2016.

## 5. 教育内容

回	内 容	講師
1	入院治療を受ける高齢者とその家族への高度な看護実践（1） ・老年病の特徴、老年症候群	原
2	入院治療を受ける高齢者とその家族への高度な看護実践（2） ・入院に伴って生じるリスク（せん妄など）とリスク管理 ・老人看護専門看護師による Cure と Care を統合した看護援助 ・円滑な在宅移行に必要な連携と調整	吉岡
3		吉岡
4	入院治療を受ける高齢者とその家族への高度な看護実践（3） ・倫理調整を必要とする課題の発見と調整の実際（事例検討）	吉岡
5	介護保険施設を利用する高齢者とその家族への高度な看護実践（1） ・介護保険施設を利用する高齢者ケアの現状と課題	原
6	介護保険施設を利用する高齢者とその家族への高度な看護実践（2） ・老人看護専門看護師による Cure と Care を統合した看護援助 ・多職種連携・協働の体制づくりと看護の専門性	空先
7		空先
8	介護保険施設を利用する高齢者とその家族への高度な看護実践（3） ・倫理調整を必要とする課題の発見と調整の実際（事例検討）	空先 原
9	在宅療養する高齢者とその家族への高度な看護実践（1） ・在宅での疾病管理、チームアプローチの実際	塩川
10	在宅療養する高齢者とその家族への高度な看護実践（2） ・在宅看護専門看護師による Cure と Care を統合した看護援助	塩川
11	在宅療養する高齢者とその家族への高度な看護実践（3） ・倫理調整を必要とする課題の発見と調整の実際（事例検討）	塩川 原
12	エンドオブライフを生きる高齢者とその家族への高度な看護実践（1） ・エンドオブライフにおける医療・ケアの現状と課題	加藤
13	エンドオブライフを生きる高齢者とその家族への高度な看護実践（2） ・高齢者に起こりやすい症状や苦痛のアセスメント ・老人看護専門看護師による緩和ケア、Cure と Care を統合した看護援助	内部
14		内部
15	エンドオブライフを生きる高齢者とその家族への高度な看護実践（3） ・高齢者のエンドオブライフケアにおける倫理的問題と倫理調整	内部 加藤